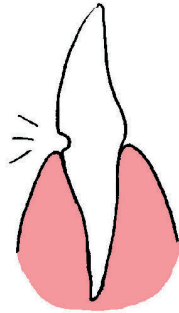


### 歯がしみる…<sup>けっそん</sup>くさび状欠損かもしれません。

くさび状欠損とは、歯の根元（歯のエナメル質と象牙質の境目付近）が、えぐれたように削れてしまっている状態のことで、見た目に影響し、知覚過敏の原因になったりします。

#### くさび状欠損の 症状

くさび状に削れた部分に歯ブラシの毛先が当たって痛む、冷たいものがしみるなどの知覚過敏の症状が出ます。さらに何年も放っておくと、大きくえぐれて歯が折れてしまう事もあります。



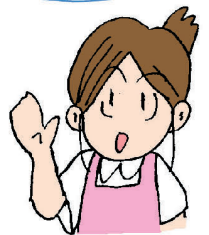
#### くさび状欠損の 治療方法

痛みが無い場合は、歯を磨く時に歯磨剤を使わない、固めの歯ブラシで強く磨かないなど、様子を見ることで自然に症状が治まる事があります。

知覚過敏の症状が続く場合には、しみ止めの薬を塗る治療や、合成樹脂で削れた部分をカバーする治療を行います。

歯が折れそうなほど大きくえぐれてしまっている場合には、金属やセラミックなどで被せ物をする治療が必要な場合もあります。

くさび状欠損は、かみ合わせの調整、寝ている間にマウスガードを装着するなどして、進行を予防できる事があります。歯の根元のすり減りが気になりだしたら、歯科医院でチェックを受けてみてください。



#### くさび状欠損の 原因

かみ合わせの悪さによる影響が大きいと言われています。“歯ぎしり”や“食いしばり”の癖がある方は注意が必要です。



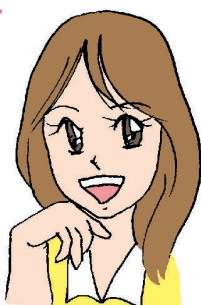
## キレイな口元は、こんなメリットが!

顔の印象を決めるのは“目”や“鼻”だけではありません。“口元”は顔の印象に大きな影響を与えます。

### 笑顔に自信

キレイな口元は笑顔を引き立てます。

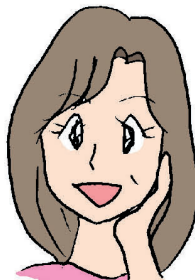
口元は顔のパーツの中でも、とても存在感のある部分です。笑った時や会話をする時に、白く美しく整った歯が見えると顔の印象がとても良いものです。また、笑顔を作った時に口の端（口角）がきゅっと上がると、更に魅力的な表情になります。



### 若く見える

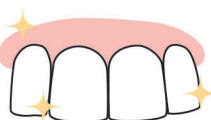
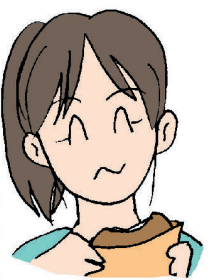
口元は見た目年齢にも影響します。口の周りには口輪筋という筋肉があり、顔の表情をつくる筋肉や、噛む時に使う筋肉など、様々な筋肉とつながっています。口元を引き締める事は、お顔全体のリフトアップや若返りにもなるのです。

口元を引き締めるには、よく噛んで食事をする事や、お口を意識的に動かす体操が効果的です。



### しっかり噛めることも大事

見た目に美しい口元でも、しっかり噛めなくて美味しく快適に食事できなかつたら意味がありません。機能的にも審美的にも優れていてこそ、本当に“キレイな口元”だといえます。ハミガキなどの日頃のケアや定期的な健診で、よく噛めて美しく健康的な口元を保ちましょう。



キレイな口元には、笑ったときなどに見える歯も重要です。黄ばんだ歯や悪い歯並びは見た目に影響します。審美歯科治療では、歯の色や形、歯並び、噛める環境を整え、キレイな口元をサポートします。気になることがあればお気軽にご相談ください。

